

薄皮パン祭り

2025. 10. 16

この前、ドラッグストアに行った。これは、珍しいことではない。店内をウロウロしているうちに、あることを思った。これでは、スーパーと変わらないではないか。そうなのである。今どきのドラッグストアは、スーパーとしての機能も充実している。

このことに慣れていない私は、ドラッグストアなのに、こんなものまで売っているのかと見てしまう。何気なくパンコーナーに行ってみた。普段よく行くスーパーやコンビニとは明らかにラインナップが違う。あえて差別化を図っているように思える。魅力的なものが並んでいる。

例えば、ランチパックシリーズである。驚くほどの種類があることは知っていた。だが、お目にかかることがなかった。こういったところで売られていることを知った。買いたくなった。だが、ぐっと我慢した。

パンといえばまずはヤマザキである。薄皮シリーズを見つけた。懐かしい。昔はよく食べていた。特に白あんが好きだった。この薄皮パンは、みかけは小さい。ところが手に取ると、けっこうな重量である。小さいので気軽に食べられる。みんなでシェアもできる。ちょっとお腹がすいたときやおやつに最適であろう。レジャーやドライブのお供にもよい。

懐かしさに浸っているうちに、目に飛び込んできたのは、カレー焼きそば、ミートスパゲッティ、ポテトサラダ、たまご、ツナマヨネーズの面々である。調べてみた。他にも、りんご入りカスタードクリーム、栗あんぱん、ミルクコーヒークリーム、メロンクリームなどがある。充実している。あの薄皮パンが裏切るはずがない。どれもおいしいはずである。

迷った。どれも買いたくなった。しばし逡巡した後、一つにすることにした。決定権を委ねられた。ミートスパゲッティを選んだ。家に帰り、すぐに食べてもよかった。誘惑に耐えた。その魅力的な薄皮ミートスパゲッティパンは、翌日の朝食となって登場した。袋から出し、手に取る。やはりずっしり感がある。口に入れてみる。この期待を裏切らない美味しさ、さすがはヤマザキの薄皮シリーズである。

ちょっとした楽しみが増えた。次は、何にしようか。迷う。どうせなら、どれも買ってしまい、薄皮パン祭りを開催するのがよいかもしれない。一つ一つが小さいため、けっこうな種類を試すことができるはずである。たぶん、一通り食べた後に思うことがある。やっぱり白あんがいいなあ。これが定番シリーズの強さである。いや、栗あんぱんかもしれない。